

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	一般教養 I
実務家教員授業	
学部・学科	医療事務学科 保育士・幼稚園教諭コース
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業回数	15回
授業概要	一般教養として、社会で求められる漢字の知識を身に付ける。
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する。
達成目標	日本ビジネス技能検定協会漢字検定2級に合格する。
教科書	問題集・プリント
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 訓読み・送り仮名 1</li> <li>2 訓読み・送り仮名 2</li> <li>3 熟語 1</li> <li>4 熟語 2</li> <li>5 熟語 3</li> <li>6 異字同訓・同音異義</li> <li>7 誤字訂正 1</li> <li>8 誤字訂正 2・類義語</li> <li>9 反対語</li> <li>10 漢字の意味・使い方 1</li> <li>11 漢字の意味・使い方 2</li> <li>12 項目別模擬試験 1</li> <li>13 項目別模擬試験 2</li> <li>14 直前模擬試験 1</li> <li>15 直前模擬試験 2</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における得点で評価
備考	

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	キャリアデザイン I
実務家教員授業	
学部・学科	医療事務学科 保育士・幼稚園教諭コース
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業回数	15回
授業概要	面接試験で求められるビジネスマナーの基礎を学ぶ。
授業の進め方	座学を基に実技練習を行い、効果測定を行う
達成目標	面接時の入退室及び自己PRが出来るようになる。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 面接の基本</li> <li>2 入退室の仕方・身嗜みチェック</li> <li>3 入退室効果測定</li> <li>4 自己PR作成1</li> <li>5 自己PR作成2</li> <li>6 自己PR作成3</li> <li>7 自己PR効果測定</li> <li>8 面接質問項目1</li> <li>9 面接質問項目2</li> <li>10 面接質問項目3</li> <li>11 面接効果測定</li> <li>12 受験先シミュレーション</li> <li>13 面接カードの作成</li> <li>14 模擬面接試験(効果測定)</li> <li>15 模擬面接試験の検証</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	キャリアデザインⅡ	
実務家教員授業		
学部・学科	医療事務学科 保育士・幼稚園教諭コース	
履修年次	1年次	
開講学期	通年(後期)	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	面接試験に向けての準備作業や集団・個人での実践練習を行う	
授業の進め方	前半は座学中心になるが、後半は本番形式の模擬面接を実施する	
達成目標	自然な会話の中で好印象を与え、自分らしさを表現できる	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	自己分析 1
	2	自己分析 2
	3	自己分析 3
	4	自己PR 考察 1
	5	自己PR 考察 2
	6	職種研究 1
	7	職種研究 2
	8	職種研究 3
	9	志望動機整理 1
	10	志望動機整理 2
	11	模擬集団面接 1
	12	模擬集団面接 2
	13	模擬集団面接 3
	14	集団討論レクチャー
	15	模擬集団討論
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢	
備考		

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	医療キャリアデザイン I
実務家教員授業	
学部・学科	医療事務学科 保育士・幼稚園教諭コース
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業回数	15回
授業概要	就職活動の心構え・準備内容を理解する
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	就職活動に対する意識付け及び実践的な演習により、活動の準備を万全に行う
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 就職の心構え 2 職業理解 3 自己分析① 4 自己分析② 5 自己PR 6 志望動機 7 作文・小論文 8 履歴書作成 9 一般常識 10 適性検査 11 質疑応答① 12 質疑応答② 13 面接試験 14 面接試験演習① 15 面接試験演習②
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	秘書実践
実務家教員授業	
学部・学科	医療事務学科 保育士・幼稚園教諭コース
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業回数	15回
授業概要	来客者に対する応対マナーや対応方法を身に付ける
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	全年齢層に対する適切な対応ができるようになる
教科書	オリジナルテキスト、保育所保育指針
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 社会人としてのマナー（言葉遣い、態度）</li> <li>2 社会人としてのマナー（表情、アイコンタクト）</li> <li>3 社会人としてのマナー（挨拶、お辞儀）</li> <li>4 社会人としてのマナー（挨拶の基本フレーズ）</li> <li>5 立ち居振る舞い、聞く聴く</li> <li>6 来訪者に対する受付の流れ</li> <li>7 基本応対事例の確認及びトレーニング</li> <li>8 確認テスト</li> <li>9 マニュアルにとらわれない自然な声掛け、聴く姿勢</li> <li>10 メモの取り方</li> <li>11 来客受付の一連の流れ</li> <li>12 来客応対 実技演習①</li> <li>13 来客応対 実技演習②</li> <li>14 来客応対 効果測定①</li> <li>15 来客応対 効果測定②</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と実技試験により評価する。
備考	

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	医学と疾病
実務家教員授業	
学部・学科	医療事務学科 保育士・幼稚園教諭コース
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業回数	15回
授業概要	人体の基本的な仕組みや働き及び疾病について理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	人体構造の基礎と子どものかかりやすい疾病を理解する
教科書	子どもの健康と安全、厚生労働省が発信する関連ガイドライン
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 人体の仕組み：構造①</li> <li>2 人体の仕組み：構造②</li> <li>3 人体の仕組み：構造③</li> <li>4 人体の仕組み：構造④</li> <li>5 人体の働き：機能①</li> <li>6 人体の働き：機能②</li> <li>7 人体の働き：機能③</li> <li>8 人体の働き：機能④</li> <li>9 疾病予防の基本</li> <li>10 主な疾病と対応①</li> <li>11 主な疾病と対応②</li> <li>12 主な疾病と対応③</li> <li>13 主な疾病と対応④</li> <li>14 主な疾病と対応⑤</li> <li>15 確認テスト</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と試験により評価する。
備考	

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	小児援助技術 I
実務家教員授業	
学部・学科	医療事務学科 保育士・幼稚園教諭コース
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	60時間
授業回数	30回
授業概要	乳児、幼児とのかかわり方を演習を通して学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説に加え、グループワークや実践トレーニングを通して実践力を養う
達成目標	子どもの個別対応方法を身につける
教科書	保育所保育指針、子どもの発達理解と援助
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 保育における子どもの理解</li> <li>2 表現演習①</li> <li>3 子どもに対する関わりと共感的理解</li> <li>4 表現演習②</li> <li>5 子どもの生活や遊び</li> <li>6 表現演習③</li> <li>7 保育の人的環境としての保育者と子どもの発達</li> <li>8 表現演習④</li> <li>9 子ども相互の関わりと関係づくり</li> <li>10 表現演習⑤</li> <li>11 集団における経験と育ち</li> <li>12 個別援助①</li> <li>13 発達における葛藤やつまずき</li> <li>14 個別援助②</li> <li>15 保育の環境の理解と構成</li> <li>16 個別援助③</li> <li>17 環境の変化や移行</li> <li>18 個別援助④</li> <li>19 子ども理解のための観察・記録と省察・評価</li> <li>20 個別援助⑤</li> <li>21 子ども理解のための職員間の対話</li> <li>22 個別援助⑥</li> <li>23 子ども理解のための保護者との情報共有</li> <li>24 個別援助⑦</li> <li>25 発達の課題に応じた援助と関わり</li> <li>26 個別援助⑧</li> <li>27 特別な配慮を要する子どもの理解と援助</li> <li>28 個別援助⑨</li> <li>29 発達の連続性と就学への支援</li> <li>30 効果測定</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と実技試験により評価する。
備考	

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	小児援助技術Ⅱ
実務家教員授業	
学部・学科	医療事務学科 保育士・幼稚園教諭コース
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	60時間
授業回数	30回
授業概要	小児援助技術Ⅰで学んだ基礎を基に、自ら乳児、幼児とのかかわり方を考える
授業の進め方	問題演習と解説に加え、グループワークや実践トレーニングを通して実践力を養う
達成目標	自ら対応方法の計画を立て対応方法を身につける
教科書	保育所保育指針、子どもの発達理解と援助
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 子ども理解と保育のつながり</li> <li>2 子どもの活動内容①</li> <li>3 子どもの活動内容②</li> <li>4 子どもの活動内容③</li> <li>5 場面を想定した保育の活動内容の実践①</li> <li>6 場面を想定した保育の活動内容の実践②</li> <li>7 場面を想定した保育の活動内容の実践③</li> <li>8 指導案の作成①</li> <li>9 指導案の作成②</li> <li>10 指導案の作成③</li> <li>11 指導案の作成④</li> <li>12 指導案の作成⑤</li> <li>13 指導案の作成⑥</li> <li>14 指導案の作成⑦</li> <li>15 指導案の作成⑧</li> <li>16 指導案に基づく実技①</li> <li>17 指導案に基づく実技②</li> <li>18 指導案に基づく実技③</li> <li>19 指導案に基づく実技④</li> <li>20 指導案に基づく実技⑤</li> <li>21 指導案に基づく実技⑥</li> <li>22 指導案に基づく実技⑦</li> <li>23 指導案に基づく実技⑧</li> <li>24 指導案に基づく実技⑨</li> <li>25 指導案に基づく実技⑩</li> <li>26 指導案に基づく実技⑪</li> <li>27 指導案に基づく実技⑫</li> <li>28 指導案に基づく実技⑬</li> <li>29 指導案に基づく実技⑭</li> <li>30 効果測定</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と実技試験により評価する。
備考	



## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	養護内容
実務家教員授業	
学部・学科	医療事務学科 保育士・幼稚園教諭コース
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	60時間
授業回数	30回
授業概要	養護を実践している施設の現状を理解し、そこで必要なスキルを学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	広義の養護について全体像を把握する
教科書	社会的養護と障害児保育
特記	
授業計画	1 養護とは① 2 養護とは② 3 社会的養護の理解と概念 4 社会的養護施設の概要① 5 社会的養護施設の概要② 6 社会的養護施設の概要③ 7 家庭養護の概要① 8 家庭養護の概要② 9 施設養護の専門職① 10 施設養護の専門職② 11 日常生活支援とは① 12 日常生活支援とは② 13 治療的支援とは① 14 治療的支援とは② 15 自立支援とは① 16 自立支援とは② 17 専門職の連携① 18 専門職の連携② 19 地域医療・地域福祉・地域ネットワーク① 20 地域医療・地域福祉・地域ネットワーク② 21 社会資源① 22 社会資源② 23 地域の社会資源調査① 24 地域の社会資源調査② 25 地域の社会資源調査③ 26 地域の社会資源調査④ 27 地域の社会資源調査⑤ 28 地域の社会資源調査⑥ 29 調査結果発表① 30 調査結果発表②
成績評価方法 (試験実施方法)	出席とレポートにより評価する。
備考	

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	施設実習 V
実務家教員授業	○
学部・学科	医療事務学科 保育士・幼稚園教諭コース
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	60時間
授業回数	30回
授業概要	施設職員として必要な基礎知識や基礎技術を学ぶ
授業の進め方	有識者の指導を基に実践的な知識や技術を学ぶ
達成目標	施設内で行う施設職員の様々な業務内容を理解し、実践できるようにする
教科書	実習の記録と指導案、実習日誌
特記	実務家教員は、保険医療機関又は福祉施設等で勤務している現役の職員
授業計画	1 現場実習 (オリエンテーション) ① 2 現場実習 (オリエンテーション) ② 3 現場実習 (見学・観察) ① 4 現場実習 (見学・観察) ② 5 現場実習 (見学・観察) ③ 6 現場実習 (見学・観察) ④ 7 現場実習 (見学・観察) ⑤ 8 現場実習 (見学・観察) ⑥ 9 現場実習 (見学・観察) ⑦ 10 現場実習 (見学・観察) ⑧ 11 現場実習 (参加体験) ① 12 現場実習 (参加体験) ② 13 現場実習 (参加体験) ③ 14 現場実習 (参加体験) ④ 15 現場実習 (参加体験) ⑤ 16 現場実習 (参加体験) ⑥ 17 現場実習 (参加体験) ⑦ 18 現場実習 (参加体験) ⑧ 19 現場実習 (参加体験) ⑨ 20 現場実習 (参加体験) ⑩ 21 現場実習 (参加体験) ⑪ 22 現場実習 (参加体験) ⑫ 23 現場実習 (部分実習) ① 24 現場実習 (部分実習) ② 25 現場実習 (部分実習) ③ 26 現場実習 (部分実習) ④ 27 現場実習 (部分実習) ⑤ 28 現場実習 (部分実習) ⑥ 29 現場実習 (部分実習) ⑦ 30 現場実習 (部分実習) ⑧
成績評価方法 (試験実施方法)	実習内容・実習簿評価により評価する。
備考	

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	実習事前指導
実務家教員授業	
学部・学科	医療事務学科 保育士・幼稚園教諭コース
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業回数	15回
授業概要	施設実習を円滑に進めるための知識・技術・態度について学ぶ
授業の進め方	グループワークと実技演習
達成目標	施設内で行う施設職員の様々な職業内容を理解する
教科書	実習の記録と指導案、保育専門職と保育実践、配布プリント・資料
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 実習の概要・意義・目的の確認</li> <li>2 実習先研究①</li> <li>3 実習先研究②</li> <li>4 実習先研究③</li> <li>5 実習生としての心構えの確認</li> <li>6 実習生マナー①</li> <li>7 実習生マナー②</li> <li>8 実習生マナー③</li> <li>9 実習計画について</li> <li>10 実習計画に基づく保育実践</li> <li>11 考察について</li> <li>12 考察について</li> <li>13 日誌・記録の取り方①</li> <li>14 日誌・記録の取り方②</li> <li>15 日誌・記録の取り方③</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と実技試験により評価する。
備考	

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	ボランティア実践
実務家教員授業	○
学部・学科	医療事務学科 保育士・幼稚園教諭コース
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	60時間
授業回数	30回
授業概要	ボランティア活動について学び、体験を通して対応スキルを向上させる
授業の進め方	希望の職種(病院や施設)などの外部施設でボランティア活動を行う
達成目標	ボランティアマインドを実践を通して学ぶ
教科書	配布プリント・資料
特記	実務家教員は、保険医療機関、福祉施設等で勤務している現役の職員
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ボランティア活動とは</li> <li>2 ボランティア活動と実習の違い</li> <li>3 ボランティア活動の心構え①</li> <li>4 ボランティア活動の心構え②</li> <li>5 さまざまなボランティア</li> <li>6 ボランティア活動方法①</li> <li>7 ボランティア活動方法②</li> <li>8 ボランティア活動方法③</li> <li>9 学内ボランティア実践又は外部ボランティア①</li> <li>10 学内ボランティア実践又は外部ボランティア②</li> <li>11 学内ボランティア実践又は外部ボランティア③</li> <li>12 学内ボランティア実践又は外部ボランティア④</li> <li>13 学内ボランティア実践又は外部ボランティア⑤</li> <li>14 学内ボランティア実践又は外部ボランティア⑥</li> <li>15 学内ボランティア実践又は外部ボランティア⑦</li> <li>16 学内ボランティア実践又は外部ボランティア⑧</li> <li>17 学内ボランティア実践又は外部ボランティア⑨</li> <li>18 学内ボランティア実践又は外部ボランティア⑩</li> <li>19 学内ボランティア実践又は外部ボランティア⑪</li> <li>20 学内ボランティア実践又は外部ボランティア⑫</li> <li>21 学内ボランティア実践又は外部ボランティア⑬</li> <li>22 学内ボランティア実践又は外部ボランティア⑭</li> <li>23 学内ボランティア実践又は外部ボランティア⑮</li> <li>24 学内ボランティア実践又は外部ボランティア⑯</li> <li>25 学内ボランティア実践又は外部ボランティア⑰</li> <li>26 学内ボランティア実践又は外部ボランティア⑱</li> <li>27 ボランティア活動報告①</li> <li>28 ボランティア活動報告②</li> <li>29 ボランティア活動報告③</li> <li>30 ボランティア活動報告④</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	出席とレポートにより評価する。
備考	

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	音楽ケアの基礎 I	
実務家教員授業		
学部・学科	医療事務学科 保育士・幼稚園教諭コース	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	音楽がもつ様々な効果や影響について学ぶ	
授業の進め方	講義と実技を通して学ぶ	
達成目標	子どもの前で実践できるようにする	
教科書	幼児のための音楽教育、配布プリント	
特記		
授業計画	1	音楽の重要性
	2	音楽の効果①
	3	音楽の効果②
	4	音楽ケアの実践①
	5	音楽ケアの実践②
	6	音楽ケアの実践③
	7	音楽ケアの実践④
	8	音楽ケアの実践⑤
	9	音楽ケアの実践⑥
	10	音楽ケアの実践⑦
	11	音楽ケアの実践⑧
	12	音楽ケアの実践⑨
	13	音楽ケアの実践⑩
	14	音楽ケアの実践⑪
	15	音楽ケアの実践⑫
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と実技試験により評価する。	
備考		

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	小児援助実践 I
実務家教員授業	
学部・学科	医療事務学科 保育士・幼稚園教諭コース
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業回数	15回
授業概要	乳児、幼児とのかかわり方を演習を通して学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説に加え、グループワークや実践トレーニングを通して実践力を養う
達成目標	子どもの個別対応方法を身につける
教科書	保育専門職と保育実践
特記	
授業計画	1 乳児・幼児研究① 2 乳児・幼児研究② 3 乳児・幼児研究③ 4 乳児・幼児研究④ 5 乳児とのかかわり① 6 乳児とのかかわり② 7 幼児とのかかわり① 8 幼児とのかかわり② 9 乳児に合わせた対応計画の作成① 10 乳児に合わせた対応計画の作成② 11 幼児に合わせた対応計画の作成① 12 幼児に合わせた対応計画の作成② 13 乳児・幼児の対応計画に基づく演習① 14 乳児・幼児の対応計画に基づく演習② 15 乳児・幼児の対応計画に基づく演習③
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と実技試験により評価する。
備考	

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	小児援助実践Ⅱ
実務家教員授業	
学部・学科	医療事務学科 保育士・幼稚園教諭コース
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	60時間
授業回数	30回
授業概要	乳児、幼児とのかかわり方を演習を通して学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説に加え、グループワークや実践トレーニングを通して実践力を養う
達成目標	子どもの集団対応方法を身につける
教科書	保育専門職と保育実践
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 子どもに対する共感的理解について①</li> <li>2 子どもに対する共感的理解について②</li> <li>3 子どもに対する共感的理解について③</li> <li>4 子どもを理解する視点を考える①</li> <li>5 子どもを理解する視点を考える②</li> <li>6 子どもを理解する視点を考える③</li> <li>7 子ども相互の関わりと関係づくりを築くための実践的な働きかけ①</li> <li>8 子ども相互の関わりと関係づくりを築くための実践的な働きかけ②</li> <li>9 子ども相互の関わりと関係づくりを築くための実践的な働きかけ③</li> <li>10 特別な配慮を要する子どもの理解と援助について①</li> <li>11 特別な配慮を要する子どもの理解と援助について②</li> <li>12 特別な配慮を要する子どもの理解と援助について③</li> <li>13 子育て支援・家庭支援における子どもの理解①</li> <li>14 子育て支援・家庭支援における子どもの理解②</li> <li>15 子育て支援・家庭支援における子どもの理解③</li> <li>16 個別・集団演習①</li> <li>17 個別・集団演習②</li> <li>18 個別・集団演習③</li> <li>19 個別・集団演習④</li> <li>20 個別・集団演習⑤</li> <li>21 個別・集団演習⑥</li> <li>22 個別・集団演習⑦</li> <li>23 個別・集団演習⑧</li> <li>24 個別・集団演習⑨</li> <li>25 個別・集団演習⑩</li> <li>26 個別・集団演習⑪</li> <li>27 個別・集団演習⑫</li> <li>28 個別・集団演習⑬</li> <li>29 個別・集団演習⑭</li> <li>30 個別・集団演習⑮</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と実技試験により評価する。
備考	

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	障害児（者）援助論
実務家教員授業	
学部・学科	医療事務学科 保育士・幼稚園教諭コース
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業回数	15回
授業概要	障害児や障害者の支援方法を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	障害への理解と援助方法を理解する
教科書	社会的養護と障害児保育
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 対象別にみた障害の理解①</li> <li>2 対象別にみた障害の理解②</li> <li>3 対象別にみた障害の理解③</li> <li>4 対象別にみた障害の理解④</li> <li>5 対象別にみた障害の理解⑤</li> <li>6 障害児（者）自立支援①</li> <li>7 障害児（者）自立支援②</li> <li>8 障害児（者）自立支援③</li> <li>9 事例研究①</li> <li>10 事例研究②</li> <li>11 事例研究③</li> <li>12 事例研究④</li> <li>13 支援者の理解①</li> <li>14 支援者の理解②</li> <li>15 障害児（者）福祉の今後の課題</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と試験により評価する。
備考	



## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	卒業研究
実務家教員授業	
学部・学科	医療事務学科 保育士・幼稚園教諭コース
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業回数	15回
授業概要	個人・グループにて研究項目を選択し、研究を進めより知識を深める
授業の進め方	個人研究、グループ研究、全体発表
達成目標	卒業後必要となる知識・技術の理解を深める
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 卒業研究に関する学習の進め方</li> <li>2 研究テーマの理解</li> <li>3 研究テーマの決定</li> <li>4 研究テーマの個人研究①</li> <li>5 研究テーマの個人研究②</li> <li>6 研究テーマの個人研究③</li> <li>7 研究テーマの個人研究④</li> <li>8 研究テーマの個人研究⑤</li> <li>9 グループ研究①</li> <li>10 グループ研究②</li> <li>11 グループ研究③</li> <li>12 グループ研究④</li> <li>13 グループ研究⑤</li> <li>14 研究発表①</li> <li>15 研究発表②</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	出席とレポートにより評価する。
備考	

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	パソコン演習
実務家教員授業	
学部・学科	医療事務学科 保育士・幼稚園教諭コース
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業回数	15回
授業概要	パソコンでの演習を通して操作方法を学ぶ
授業の進め方	テキスト、配布プリントを使用して実践力を養う
達成目標	卒業後必要となる知識・技術を身につける
教科書	オリジナルテキスト、配布プリント
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 パソコンの基本的操作とインターネットの利用法、ネチケット</li> <li>2 文書の作成と管理</li> <li>3 一般的なビジネス文書の作成</li> <li>4 シンプルなレポートや報告書の作成</li> <li>5 ビジネス文書の作成方法の復習</li> <li>6 イラストや図形を使ったビジュアルな文書の作成</li> <li>7 写真の挿入や加工方法①</li> <li>8 写真の挿入や加工方法②</li> <li>9 画像の編集方法①</li> <li>10 画像の編集方法②</li> <li>11 画像の編集方法③</li> <li>12 H Pの作成・活用方法①</li> <li>13 H Pの作成・活用方法②</li> <li>14 H Pの作成・活用方法③</li> <li>15 H Pの作成・活用方法④</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と課題提出、試験により評価する。
備考	

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	小児援助実践Ⅲ
実務家教員授業	
学部・学科	医療事務学科 保育士・幼稚園教諭コース
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業回数	15回
授業概要	環境ごとの乳児、幼児とのかかわり方を演習を通して学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説に加え、グループワークや実践トレーニングを通して実践力を養う
達成目標	環境の特徴を生かした乳児・幼児のかかわり方を身につける
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 乳児、幼児に必要な環境構成</li> <li>2 健康に配慮した環境とは</li> <li>3 安心・安全な環境とは</li> <li>4 異年齢の集団に対する援助実践</li> <li>5 屋内での援助実践①</li> <li>6 屋内での援助実践②</li> <li>7 屋内での援助実践③</li> <li>8 屋内での援助実践④</li> <li>9 屋外での援助実践①</li> <li>10 屋外での援助実践②</li> <li>11 屋外での援助実践③</li> <li>12 屋外での援助実践④</li> <li>13 屋外での援助実践⑤</li> <li>14 季節を考慮した援助実践①</li> <li>15 季節を考慮した援助実践②</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と実技試験により評価する。
備考	

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	小児援助実践Ⅳ
実務家教員授業	
学部・学科	医療事務学科 保育士・幼稚園教諭コース
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業回数	15回
授業概要	自ら設定した対象に対し、援助計画の立案、実践の流れを演習を通して学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説に加え、グループワークや実践トレーニングを通して実践力を養う
達成目標	対象の研究、援助計画の立案、実践技術を一連の流れを通して身につける
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 援助計画について</li> <li>2 対象に合わせた援助計画の作成①</li> <li>3 対象に合わせた援助計画の作成②</li> <li>4 対象に合わせた援助計画の作成③</li> <li>5 対象に合わせた援助計画の作成④</li> <li>6 対象に合わせた援助計画の作成⑤</li> <li>7 対象に合わせた援助実践①</li> <li>8 対象に合わせた援助実践②</li> <li>9 対象に合わせた援助実践③</li> <li>10 対象に合わせた援助実践④</li> <li>11 対象に合わせた援助実践⑤</li> <li>12 対象に合わせた援助実践⑥</li> <li>13 対象に合わせた援助実践⑦</li> <li>14 対象に合わせた援助実践⑧</li> <li>15 対象に合わせた援助実践⑨</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と実技試験により評価する。
備考	

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	小児援助実践Ⅴ
実務家教員授業	
学部・学科	医療事務学科 保育士・幼稚園教諭コース
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業回数	15回
授業概要	遊びを通して乳児、幼児とのかかわり方を学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説に加え、グループワークや実践トレーニングを通して実践力を養う
達成目標	安全、環境構成など様々な配慮点を身に付ける
教科書	楽しさを通じた心の元気づくり
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 乳児、幼児に必要な環境構成</li> <li>2 健康に配慮した環境とは</li> <li>3 安心・安全な環境とは</li> <li>4 異年齢の集団に対する運動あそび援助実践</li> <li>5 屋内での運動あそび援助実践①</li> <li>6 屋内での運動あそび援助実践②</li> <li>7 屋内での運動あそび援助実践③</li> <li>8 屋内での運動あそび援助実践④</li> <li>9 屋外での運動あそび援助実践①</li> <li>10 屋外での運動あそび援助実践②</li> <li>11 屋外での運動あそび援助実践③</li> <li>12 屋外での運動あそび援助実践④</li> <li>13 屋外での運動あそび援助実践⑤</li> <li>14 季節を考慮した運動あそび援助実践①</li> <li>15 季節を考慮した運動あそび援助実践②</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と実技試験により評価する。
備考	

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	小児援助実践VI
実務家教員授業	
学部・学科	医療事務学科 保育士・幼稚園教諭コース
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業回数	15回
授業概要	運動を通して乳児、幼児とのかかわり方を学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説に加え、グループワークや実践トレーニングを通して実践力を養う
達成目標	運動の効果、楽しさを学ぶ
教科書	楽しさを通した心の元気づくり
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 援助計画について</li> <li>2 対象に合わせた運動あそびの援助計画の作成①</li> <li>3 対象に合わせた運動あそびの援助計画の作成②</li> <li>4 対象に合わせた運動あそびの援助計画の作成③</li> <li>5 対象に合わせた運動あそびの援助計画の作成④</li> <li>6 対象に合わせた運動あそびの援助計画の作成⑤</li> <li>7 対象に合わせた運動あそびの援助実践①</li> <li>8 対象に合わせた運動あそびの援助実践②</li> <li>9 対象に合わせた運動あそびの援助実践③</li> <li>10 対象に合わせた運動あそびの援助実践④</li> <li>11 対象に合わせた運動あそびの援助実践⑤</li> <li>12 対象に合わせた運動あそびの援助実践⑥</li> <li>13 対象に合わせた運動あそびの援助実践⑦</li> <li>14 対象に合わせた運動あそびの援助実践⑧</li> <li>15 対象に合わせた運動あそびの援助実践⑨</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と実技試験により評価する。
備考	

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	音楽ケアの基礎Ⅱ
実務家教員授業	
学部・学科	医療事務学科 保育士・幼稚園教諭コース
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業回数	15回
授業概要	音楽がもつ様々な効果と音楽教育の重要性を学ぶ
授業の進め方	講義と実技を通して学ぶ
達成目標	音楽ケアの基礎を身につける
教科書	ダルクローズシステムによるリトミック、リズム練習とソルフェージュ1
特記	
授業計画	1 童謡を使った音楽ケア実践① 2 童謡を使った音楽ケア実践② 3 童謡を使った音楽ケア実践③ 4 童謡を使った音楽ケア実践④ 5 童謡を使った音楽ケア実践⑤ 6 童謡を使った音楽ケア実践⑥ 7 童謡を使った音楽ケア実践⑦ 8 童謡を使った音楽ケア実践⑧ 9 童謡を使った音楽ケア実践⑨ 10 童謡を使った音楽ケア実践⑩ 11 童謡を使った音楽ケア実践⑪ 12 童謡を使った音楽ケア実践⑫ 13 童謡を使った音楽ケア実践⑬ 14 童謡を使った音楽ケア実践⑭ 15 童謡を使った音楽ケア実践⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と実技試験により評価する。
備考	

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	音楽ケアの基礎Ⅲ
実務家教員授業	
学部・学科	医療事務学科 保育士・幼稚園教諭コース
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業回数	15回
授業概要	音楽がもつ様々な効果と音楽教育の重要性を学ぶ
授業の進め方	講義と実技を通して学ぶ
達成目標	様々な音楽ケアを知る
教科書	ダルクローズシステムによるリトミック、リズム練習とソルフェージュ1
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 音楽が与える心理的影響①</li> <li>2 音楽が与える心理的影響②</li> <li>3 音楽と感情①</li> <li>4 音楽と感情②</li> <li>5 生活の中の様々な音</li> <li>6 音楽コミュニケーション①</li> <li>7 音楽コミュニケーション②</li> <li>8 音楽コミュニケーション③</li> <li>9 音楽コミュニケーション④</li> <li>10 音楽コミュニケーション⑤</li> <li>11 音楽コミュニケーション⑥</li> <li>12 楽器を活用した音楽ケア実践①</li> <li>13 楽器を活用した音楽ケア実践②</li> <li>14 楽器を活用した音楽ケア実践③</li> <li>15 楽器を活用した音楽ケア実践④</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と実技試験により評価する。
備考	



## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	音楽ケアの基礎Ⅳ	
実務家教員授業		
学部・学科	医療事務学科 保育士・幼稚園教諭コース	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	リズムや楽器を活用した音楽ケアを学ぶ	
授業の進め方	講義と実技を通して学ぶ	
達成目標	音楽ケアリーダーとして、実践できるようにする	
教科書	ダルクローズシステムによるリトミック、リズム練習とソルフェージュ1	
特記		
授業計画	1	音とリズムと身体①
	2	音とリズムと身体②
	3	音とリズムと身体③
	4	音とリズムと身体④
	5	音とリズムと身体⑤
	6	様々な楽器を活用した音楽ケア①
	7	様々な楽器を活用した音楽ケア②
	8	様々な楽器を活用した音楽ケア③
	9	様々な楽器を活用した音楽ケア④
	10	様々な楽器を活用した音楽ケア⑤
	11	様々な楽器を活用した音楽ケア⑥
	12	様々な楽器を活用した音楽ケア⑦
	13	様々な楽器を活用した音楽ケア⑧
	14	様々な楽器を活用した音楽ケア⑨
	15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と実技試験により評価する。	
備考		

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	養護内容Ⅱ
実務家教員授業	
学部・学科	医療事務学科 保育士・幼稚園教諭コース
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業回数	15回
授業概要	様々な角度で養護を学習する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	広義の養護について全体像を把握する
教科書	社会的養護と障害児保育
特記	
授業計画	1 養護について① 2 養護について② 3 養護について③ 4 医療と養護① 5 医療と養護② 6 医療と養護③ 7 心身の健康① 8 心身の健康② 9 心身の健康③ 10 生命の保持と情緒の安定① 11 生命の保持と情緒の安定② 12 生命の保持と情緒の安定③ 13 自立支援① 14 自立支援② 15 自立支援③
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と試験により評価する。
備考	

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	養護内容Ⅲ	
実務家教員授業		
学部・学科	医療事務学科 保育士・幼稚園教諭コース	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	養護を実践している施設の現状を理解し、そこで必要なスキルを学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	成長の段階での養護について把握する	
教科書	社会的養護と障害児保育	
特記		
授業計画	1	小児の発達段階①
	2	小児の発達段階②
	3	小児の発達段階③
	4	小児の発達段階④
	5	小児の発達段階⑤
	6	小児の心理①
	7	小児の心理②
	8	小児の心理③
	9	小児の心理④
	10	小児の心理⑤
	11	地域医療・地域福祉の活用①
	12	地域医療・地域福祉の活用②
	13	地域医療・地域福祉の活用③
	14	地域医療・地域福祉の活用④
	15	地域医療・地域福祉の活用⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と試験により評価する。	
備考		

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	相談支援法
実務家教員授業	
学部・学科	医療事務学科 保育士・幼稚園教諭コース
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業回数	15回
授業概要	相談援助が必要な方に対する支援方法を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	相談支援に必要な知識、技術、支援方法を理解する
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 相談支援の基本</li> <li>2 相談支援が必要な様々な場面</li> <li>3 相談支援に必要な技術①</li> <li>4 相談支援に必要な技術②</li> <li>5 相談支援に必要な技術③</li> <li>6 相談支援に必要な技術④</li> <li>7 DVの事例およびその保護者支援①</li> <li>8 DVの事例およびその保護者支援②</li> <li>9 DVの事例およびその保護者支援③</li> <li>10 障害受容の事例および保護者支援①</li> <li>11 障害受容の事例および保護者支援②</li> <li>12 障害受容の事例および保護者支援③</li> <li>13 個人面談について</li> <li>14 個人面談事例研究</li> <li>15 相談援助のまとめ</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と試験により評価する。
備考	

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容																														
授業科目	表現と言葉																														
実務家教員授業																															
学部・学科	医療事務学科 保育士・幼稚園教諭コース																														
履修年次	1年次																														
開講学期	後期																														
科目区分	選択																														
授業方法	演習																														
授業時間	30時間																														
授業回数	15回																														
授業概要	保育所保育指針に示す5領域のうち「表現」について演習を通して学ぶ																														
授業の進め方	問題演習と解説に加え、グループワークや実践トレーニングを通して実践力を養う																														
達成目標	対象年齢に合わせた言葉掛けやアプローチ方法を身につける																														
教科書	保育所保育指針																														
特記																															
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>表現とは</td></tr> <tr><td>2</td><td>5領域における表現①</td></tr> <tr><td>3</td><td>5領域における表現②</td></tr> <tr><td>4</td><td>素話①</td></tr> <tr><td>5</td><td>素話②</td></tr> <tr><td>6</td><td>素話③</td></tr> <tr><td>7</td><td>様々な表現①</td></tr> <tr><td>8</td><td>様々な表現②</td></tr> <tr><td>9</td><td>様々な表現③</td></tr> <tr><td>10</td><td>様々な表現④</td></tr> <tr><td>11</td><td>様々な表現⑤</td></tr> <tr><td>12</td><td>様々な表現⑥</td></tr> <tr><td>13</td><td>年齢に合わせた言葉掛け①</td></tr> <tr><td>14</td><td>年齢に合わせた言葉掛け②</td></tr> <tr><td>15</td><td>効果測定</td></tr> </table>	1	表現とは	2	5領域における表現①	3	5領域における表現②	4	素話①	5	素話②	6	素話③	7	様々な表現①	8	様々な表現②	9	様々な表現③	10	様々な表現④	11	様々な表現⑤	12	様々な表現⑥	13	年齢に合わせた言葉掛け①	14	年齢に合わせた言葉掛け②	15	効果測定
1	表現とは																														
2	5領域における表現①																														
3	5領域における表現②																														
4	素話①																														
5	素話②																														
6	素話③																														
7	様々な表現①																														
8	様々な表現②																														
9	様々な表現③																														
10	様々な表現④																														
11	様々な表現⑤																														
12	様々な表現⑥																														
13	年齢に合わせた言葉掛け①																														
14	年齢に合わせた言葉掛け②																														
15	効果測定																														
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と実技試験により評価する。																														
備考																															

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	接遇論マナー実践
実務家教員授業	
学部・学科	医療事務学科 保育士・幼稚園教諭コース
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業回数	15回
授業概要	基本的なビジネススキルの向上
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	身に着けた知識や技能を実際に仕事上で活かせるようになる
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 挨拶（言葉遣い）の必要性</li> <li>2 基本的な言葉遣い</li> <li>3 クッション言葉</li> <li>4 状況に応じた言葉遣い</li> <li>5 笑顔・お辞儀</li> <li>6 基本的な電話応対</li> <li>7 応用的な電話応対</li> <li>8 電話応対演習①</li> <li>9 電話応対演習②</li> <li>10 電話応対演習③</li> <li>11 電話応対演習④</li> <li>12 電話応対演習⑤</li> <li>13 名刺交換①</li> <li>14 名刺交換②</li> <li>15 効果測定</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と実技試験により評価する。
備考	

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	ビジネスマナー実践
実務家教員授業	
学部・学科	医療事務学科 保育士・幼稚園教諭コース
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業回数	15回
授業概要	業界、企業、施設で必要なマナーを演習を通して学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説に加え、グループワークや実践トレーニングを通して実践力を養う
達成目標	社会人としての意識の向上を図る
教科書	オリジナルテキスト・配布プリント・資料
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 社会人と学生との違い（働くとは）</li> <li>2 仕事選びの基準</li> <li>3 業界研究</li> <li>4 企業研究①</li> <li>5 企業研究②</li> <li>6 企業研究③</li> <li>7 企業研究④</li> <li>8 様々な社会保障について</li> <li>9 他業種との連携①</li> <li>10 他業種との連携②</li> <li>11 業界時事①</li> <li>12 業界時事②</li> <li>13 業界時事③</li> <li>14 業界時事④</li> <li>15 効果測定</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と実技試験により評価する。
備考	